

取扱説明書

このたびはDXアンテナ製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。

DXアンテナの製品を正しく理解し、ご使用いただくために、
ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みください。
お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保存してください。

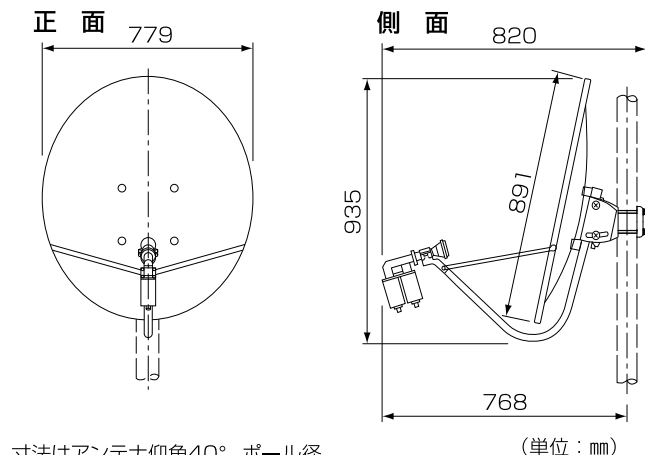
(財)ベターリビングが優良住宅部品認定制度によって、品質、性能、アフターサービス
などに優れた住宅部品を厳重な審査に基づき認定された住宅部品です。
さらに保証責任保険と賠償責任保険が制度化されていますので、安心してご利用できます。

DIGITAL



テレビ共同受信機器

75形CSアンテナ CSA-756B (BL型式 CSA-75)



寸法はアンテナ仰角40°、ポール径
φ76.3の場合の最大外形寸法です。

(単位：mm)

目次

取扱説明書	
お取扱い上のご注意	1
安全上のご注意	1
主な性能	2
各部の名称	2
施工説明書	
設置上のご注意	3
構成部品	3
組立方法	4
取付方法	4
アンテナとケーブルの接続	5
調整方法	5～8
保証について	7
保証書・お問い合わせ	8

製品の特長

- 低雑音のCSコンバータを採用していますので、鮮明な画像を再現します。
- 一次放射器やそのアームステーが小さい電波の陰をつくらぬ受信効率に優れたオフセット形を採用しました。
- 細部にわたる合理化設計でアンテナの組み立てが簡単です。
- アンテナの方向調整がスムーズに行える独自の新機構を採用し、マスト取り付けも簡単です。
- パラボラ反射鏡は高効率アルミ材を使用し、耐候性にも優れ、軽量でリサイクルも可能です。
- CS両偏波給電部 (OMT付) を採用していますので、垂直・水平偏波を同時受信でき、簡単に鮮明な画像をお楽しみいただけます。

お取扱い上のご注意

- アンテナ工事およびテレビ受信関連工事には技術と経験が必要です。お買い上げの販売店もしくは工事店にご相談ください。
- 強風の時や、雨や雪など天候の悪い時は危険ですから、取付や点検作業は行わないでください。
- CSアンテナを落としたり、ぶつけたり、無理な力を加えることのないよう注意してください。
- 組み立てや調整のため以外のネジやボルトは絶対に回さないでください。
- CSコンバータへの接続は、必ずS-5C-FB、S-7C-FB相当以上の衛星放送対応のケーブルとケーブルに適した防水形F形接栓をご使用ください。接続後は、必ず付属の自己融着テープなどを使用して防水処理を行なってください。

安全上のご注意

- | | |
|---|---------------------------------------|
| ⚠ | △記号は注意 (危険・警告を含む) を促す内容があることを告げるものです。 |
| 🚫 | ⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。 |
| ● | ●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。 |

警告

この内容を見逃して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- アンテナの表面に弊社指定以外のシール類を貼ったり、塗装したりしないでください。太陽光の反射熱で熱せられてアンテナコンバータが焼けたり、変形したりして、故障の原因となることがあります。(製品に使用しているシールおよび塗料は安全性と耐候性に問題がないことを検証して製品化しています。)
- 表示された電源電圧 (DC15V) 以外の電圧で使用しないでください。火災や感電の原因となります。
- この製品に接続する同軸ケーブルには電流が流れます。同軸ケーブルなどを傷つけたり、無理に曲げたり、ねじったりしないでください。ショートさせないでください。また、途中には電流通過型機器以外は挿入しないでください。火災や感電の原因となります。



取扱説明書

安全上のご注意のつづき

- アンテナコンバータのケースを開けたり、分解したり、修理や改造はしないでください。感電やけがの原因や、性能維持できなくなり故障の原因となります。内部の点検・調整・修理は販売店もしくは工事店にご依頼ください。
- 万一、このアンテナを落としたり、CSコンバータを破損した場合は、接続しているチューナの電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると感電やけがの原因となります。
- 取付ネジやボルト、接栓は、締付力（トルク）に指示がある場合はその力（トルク）で締め付け、堅固に取り付け固定してください。落下や破損して、感電やけが、故障の原因となります。
- 雷が鳴り出したら、アンテナやケーブルには触れないでください。感電の原因となります。

注意 この内容を見逃して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

- 台風の後や積雪の後などは、アンテナや取付装置に緩みや異常が生じることがあります。そのままにすると破損したりして、けがの原因となることがあります。点検は、お買い上げの販売店または工事店にご相談ください。
- マンションやアパートなどによっては、取り付けに規制のあるところがあります。管理組合、管理事務所、自治会などに必ず確認のうえ、取り付けてください。

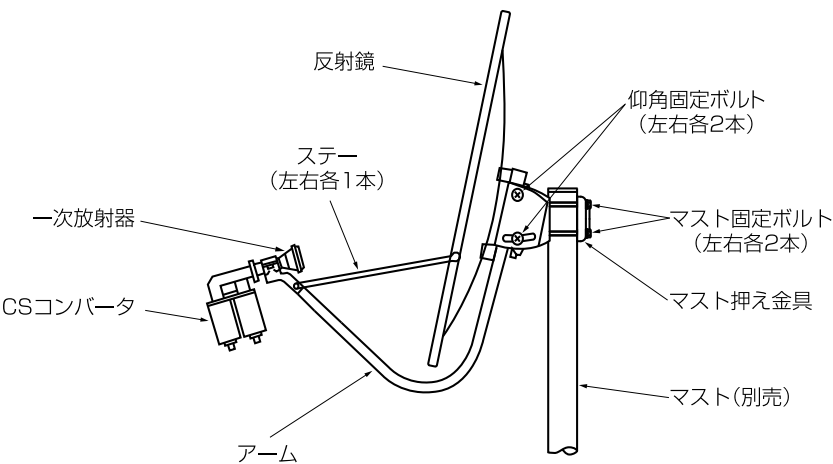
主な性能

品名	75形CSアンテナ	〈CSコンバータ部〉	
品番 (BL形式)	CSA-756B (CSA-75)	入力周波数 (GHz)	12.20~12.75
受信周波数 (GHz)	12.20~12.75	出力周波数 (MHz)	1000~1533 (垂直偏波)、1590~2072 (水平偏波)
受信偏波	直線偏波 (垂直および水平)	総合利得 (dB)	54±4
アンテナ利得 (dBi)	37.8以上	利得偏差 (dBp-p)	6以下
電圧定在波比	1.3以下	雑音指数 (dB)	1.2以下
指向性	(主偏波) EIAJ CPR-5104A A'カーブに適合 (交差偏波) EIAJ CPR-5104A B'カーブに適合	出力電圧定在波比	2.5以下
G/T (dB/K)	15.5以上	相互変調妨害比	-75dB (mW) 入力2信号で58dB以上
耐風速 (m/s)	破壊風速 60 注1)	イメージ妨害抑圧比	31dB以上
適合マスト (mm)	φ48.0~90.0	局部発振周波数の漂動	±1.5MHz以内 (-30~+50℃)
仰角調整範囲 (°)	23~67 (中間取付23~51)	局部発振信号の漏洩 (1kHz)	-55dBmW以下
偏波角調整範囲 (°)	±30	局部発振周波数 (GHz)	垂直偏波: 11.2 水平偏波: 10.678
質量 (kg)	7.0	局発位相雑音 (dBc/Hz)	-47 (1kHz)、-65 (5kHz)、-75 (10kHz) 以下
		電源	DC15V 6W以下

注1) 破壊風速：アンテナに風圧を加えている間、アンテナの一部または全部が飛散しない最大風速。

規格および外観は改良により、変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
補修部品の設定はありません。

各部の名称



組立方法、ケーブル接続については、4ページ、5ページをご覧ください。

メンテナンス

いつまでも美しいテレビ映像をお楽しみいただくために、1年に1回は専門業者に保守点検を依頼してください。

※保証等については7ページ、8ページをご覧ください。

施工説明書

ご使用の前にこの施工説明書をよく読み、正しく施工してください。また施工前に製品の外観に異常がないか、付属品が正しく入っているか確認してください。(この製品は、有線電気通信基本法、有線テレビジョン放送法、電気通信事業法の法規が適用されます。)

- ・当社の定める施工要領を逸脱しない据付工事に不具合(瑕疵)が生じ、施工者が無償修理や損害賠償を行なった場合、BLマークの証紙の貼付(又は刻印等)がされている部品については、財団法人ベターリビングのBL保険制度に基づき保険金が支給されます。
- ・BL保険制度や当住宅部品の施工要領の詳細については、財団法人ベターリビングのホームページ(<http://www.blhp.org/>)をご覧ください。なお、BL保険制度に関する質問は、財団法人ベターリビング(Tel 03-5211-0559)でもお受け致します。

設置上のご注意

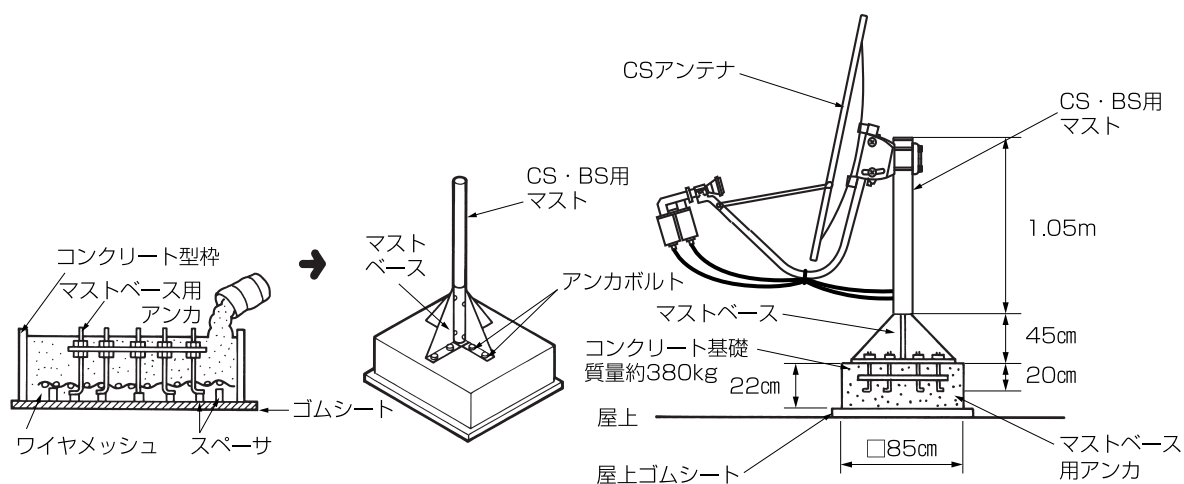
次のような場所に設置しないでください。

- 送配電線、ネオンサイン、架線や電話線の近く
- 強度の弱い場所や地盤の弱い場所、ぐらついたり振動する場所
- 人や車両の通行の妨げになる場所
- 煙突の付近や、高温になる場所

マストは垂直に建ててください。アンテナの取り付けは、マストの基礎が十分に固まった後に行なってください。

〈屋上設置例〉

- ① ゴムシートの上にコンクリート型枠を組み、スペーサの上にマストベース用アンカとワイヤメッシュを乗せ、コンクリートを注入します。(マストベース用アンカのアンカボルトの位置は、直角位置決めゲージで正確に調整しておきます。) 約一週間後、型枠をはずし、表面、側面をモルタル仕上げします。
 - ② アンカボルトにマストベースを取り付け、CS・BS用マストを挿入して固定します。
- 既設の建物の場合は、屋上にゴムシートなどを介してコンクリート架台を設置してください。
 - 新築の建物の場合は、マストベース用アンカを鉄筋などに溶接しますと更に強固に設置できます。



構成部品

反射鏡(マスト取付金具、マスト押え金具付)×1

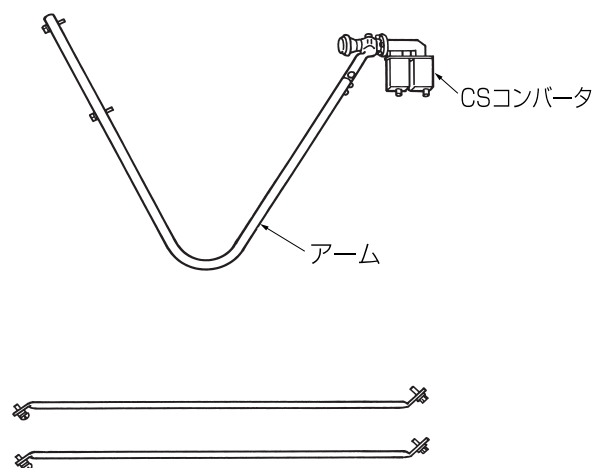
反射鏡

マスト
押え金具

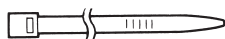
マスト取付金具

アーム×1

ステー×2



付属品



ケーブル
固定バンド
2本



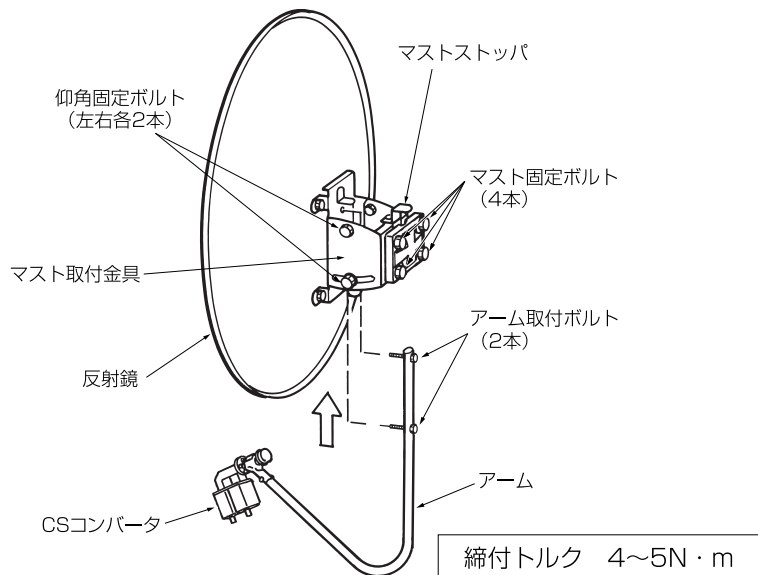
自己融着テープ
2巻

施工説明書

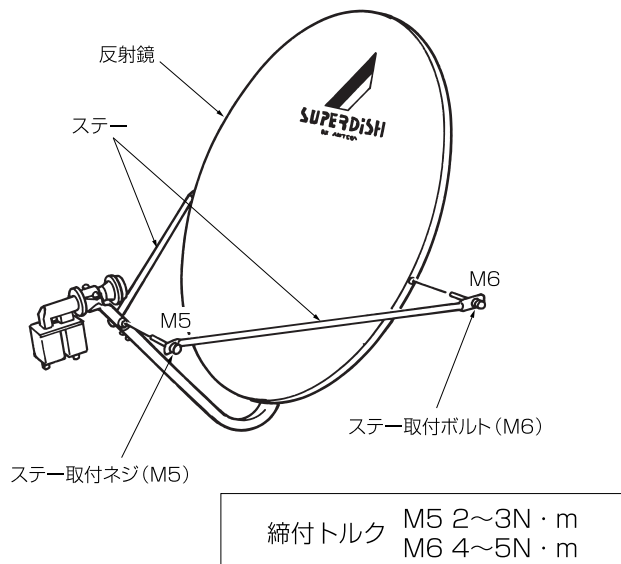
組立方法

- ①反射鏡の裏面のマスト取付金具部に、スパナなどを用いて、アームをアーム取付ボルトでしっかりと締め付けて固定してください。
- ②アームを取り付けた反射鏡に、ステーに付いているステー取付ボルト（M6）および取付ネジ（M5）を用いて、ステーを取り付けます。（このときステー取付ボルトを片側だけ先に締め込まないでください。締め込むと組み立てにくくなる原因となります。）ステー取付ボルトおよびネジを仮止めした後、交互に締め付けて固定してください。

〈アームの組立て〉



〈ステーの組立て〉

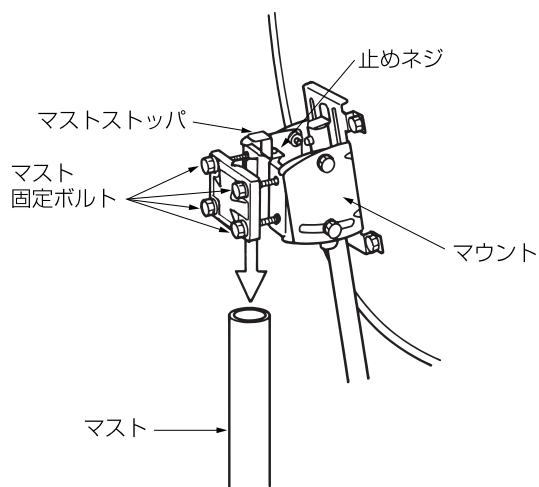


取付方法

※マストは垂直に設置されていることを確認してください。
直径48.6mm~90.0mmのマストに取り付けることができます。

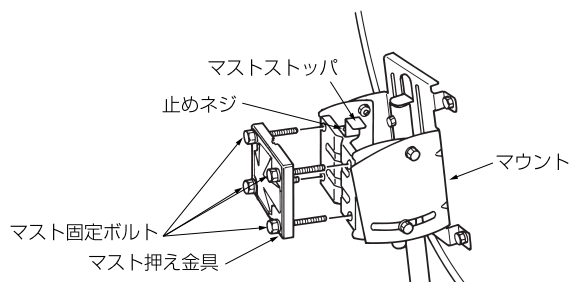
〈マストの上端に取り付ける場合〉

- ①マスト押え金具とマスト取付金具の間に、マストが入るように方位角固定ボルトを緩めてください。
- ②マストをマストストップパに当たるまで差し込み、マスト固定ボルトを仮止めします。（最終的な固定はアンテナを最良の受信方向に調整した後行います。）



〈マストの中間に取り付ける場合〉

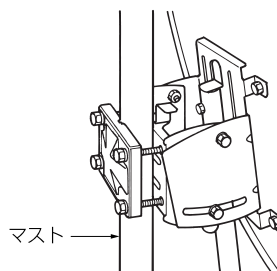
- ①マストストップパの止めネジを緩めます。
- ②マストストップパをマストが当たらない位置まで回転させ、止めネジを締め付け固定します。



中間取付ができる仰角調整範囲は 23 ~ 51° です。

※地域によっては、中間取付が
できませんので、ご注意ください。

- ③マスト固定ボルトを緩めマスト押え金具をはずします。
- ④マストをマスト取付金具とマスト押え金具ではさみ、マスト固定ボルトで仮止めします。（最終的な固定は、アンテナを最良の受信方向に調整した後行ないます。）



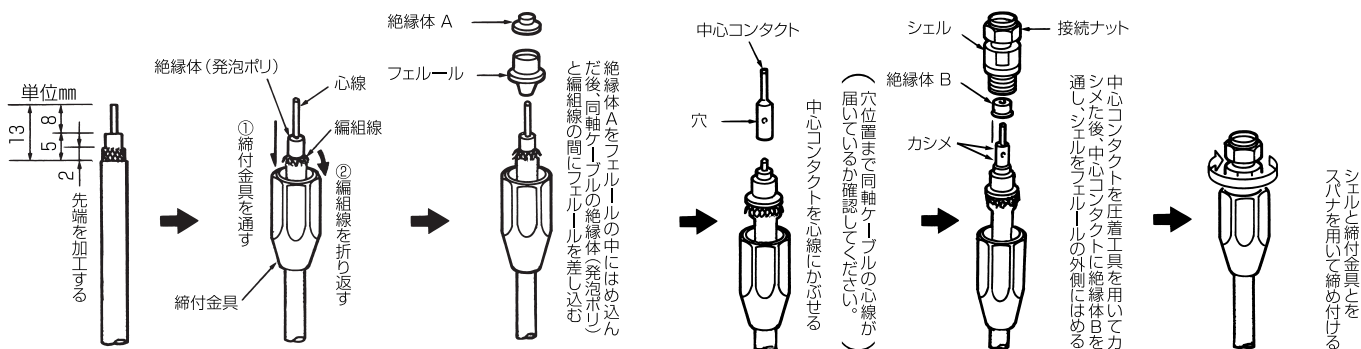
施工説明書

アンテナとケーブルの接続

- 同軸ケーブルはS-5C-FB、S-7C-FB相当以上の性能を有するものを、また、接栓は使用する同軸ケーブルに適したC15形の防水形F形接栓をご使用ください。

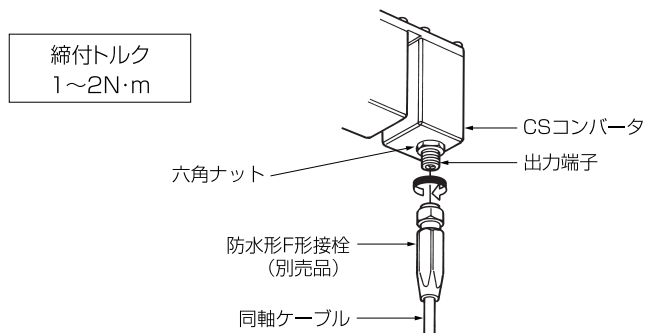
〈防水形接栓（別売品）5C相当の同軸ケーブルへの接続〉

- 同軸ケーブルの先端処理をする場合、心線、編組線に傷をつけますと断線の原因となりますので、ご注意ください。また、心線と編組線は絶対に接触しないようご注意ください。



〈出力端子への接栓の接続〉

- 図のようにCSコンバータの出力端子に接栓を接続し、スパナなどでしっかり締め付けてください。このとき、必要以上に締め付けると出力端子を破損する恐れがありますので2N・m以上のトルクで締めないでください。

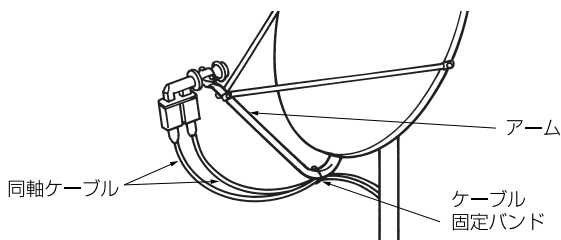


〈ご注意〉

出力端子の六角ナットは絶対に緩めないでください。緩めると雨水が入り故障の原因になります。

〈同軸ケーブルの固定〉

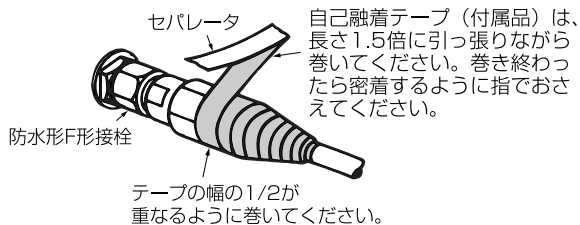
- CSコンバータの出力端子に接続した同軸ケーブルは、右図のように余裕をもって引きまわし、ケーブル固定バンドをアームに巻きつけて固定します。



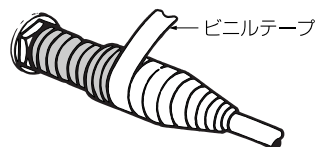
〈接栓の防水処理〉

- 出力端子に接続した接栓は、図のように確実に防水処理を施してください。

①自己融着テープを巻きつけます



②さらにその上にビニルテープを巻きつけます。

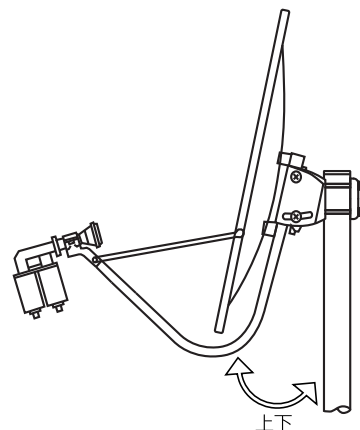
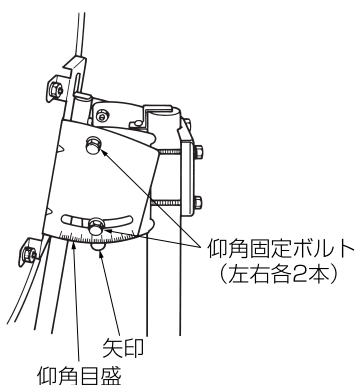


調整方法

〈仰角の粗調整〉

- ①別表（7～8ページ）の「主な設置地区の仰角と方位角と偏波角」から、アンテナ設置場所のおよその仰角を求めてください。

- ②マスト取付金具の仰角固定ボルトを緩め、仰角表示の目盛に矢印が合うように調整し、仮止めしてください。



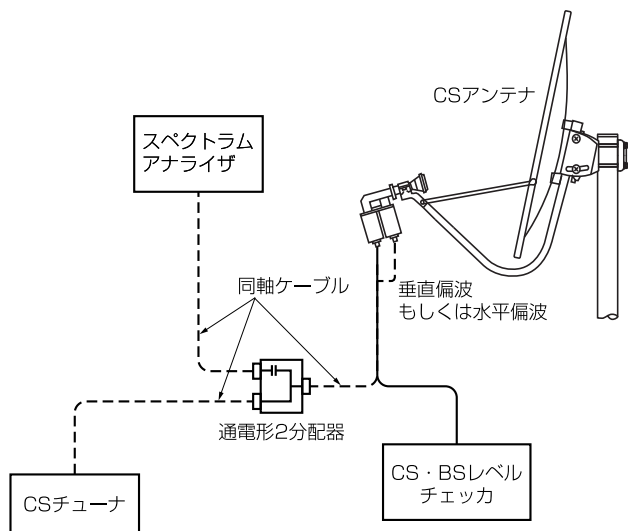
〈方位角の粗調整〉

- ①マスト押え金具のマスト固定ボルトを緩めます。(4か所)
- ②別表(7～8ページ)の「主な設置地区の仰角と方位角と偏波角」から、アンテナ設置場所のおよその方位角を求めてください。
- ③市販の方位磁石などでおよその方向を確認し、反射鏡を回転させマスト固定ボルトを締めて仮止めしてください。
(ビルの屋上など方位磁石の近くに磁性体がある場合は、方位磁石が正確に働かない場合があります。この場合は方位磁石を移動させながら正確な方位角を求めてください。)

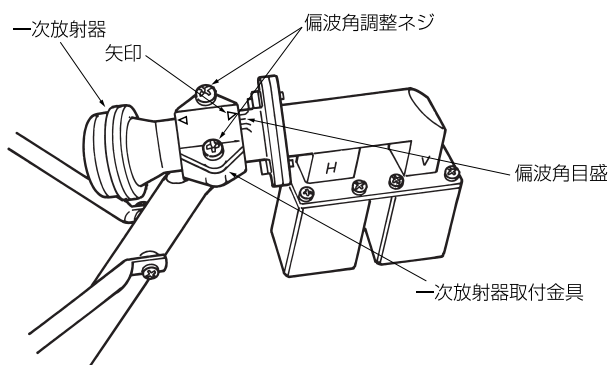
〈仰角・方位角・偏波角の正確な調整〉

CSアンテナの方向調整は衛星からの電波を受信して行います。CSアンテナの正確な方向調整はCS・BSレベルチェッカおよびスペクトラムアナライザなどを用いる方法について説明します。

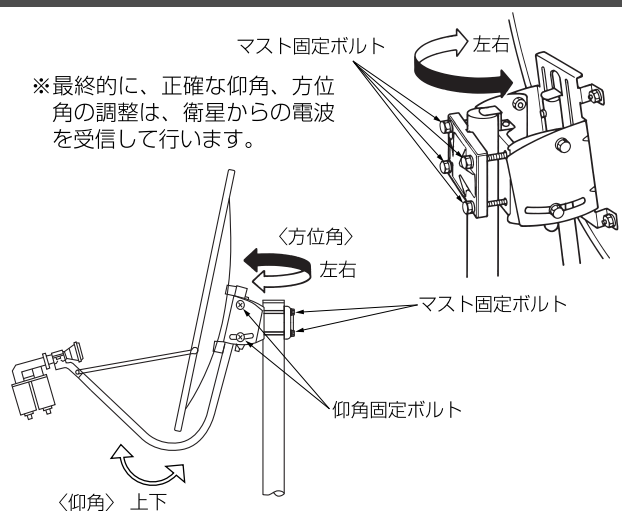
- ①CSアンテナを通電形2分配器などを用いて、スペクトラムアナライザ・CSチューナなどに接続するか、またはCS・BSレベルチェッカに接続してください。
- ②CSコンバータ電源(DC15V)は通電形2分配器などを介して同軸ケーブルに重畳してCSチューナなどからCSコンバータへ供給します。CS・BSレベルチェッカ使用時にはCS・BSレベルチェッカから供給します。



- ③一次放射器取付金具の偏波角調整ネジを左右均等に緩めます。
- ④別表(7～8ページ)の「主な設置地区の仰角と方位角と偏波角」より偏波角を求め、偏波角目盛を矢印に合わせます。
- ⑤偏波角調整ネジを左右均等に締め付け仮固定します。



- ⑥CSアンテナのマスト固定ボルトを緩めます。
- ⑦CSアンテナを左右にゆっくりと振り、スペクトラムアナライザまたは、CS・BSレベルチェッカの指示レベルが最大(最良)となる方向に調整します。

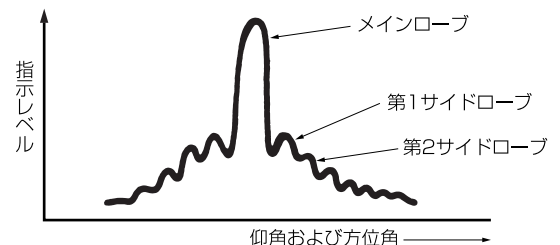


- ⑧マスト固定ボルトを仮止めします。(4か所)
- ⑨仰角固定ボルトを緩めます。仰角調整についても方位角調整と同様に指示レベルが最大(最良)となるようCSアンテナを上下させて調整します。
- ⑩指示レベルが最大(最良)となるところで、仰角固定ボルトを仮止めします。(左右各2か所)

※隣接する他の衛星との角度差が狭いため、間違っ隣接衛星を受信していないか、テレビの画像と番組表とで確認してください。

※このとき、サイドローブと間違えないためにこの振れを通り越して、次の指示レベルが大きくなるまでアンテナを回して図のような(仰角、方位角/指示レベル)特性になっていることを確認した後、指示レベルが最大(最良)(メインローブ)の仰角、方位角に戻します。

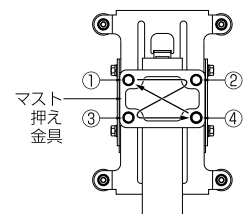
〈仰角、方位角/指示レベル〉特性



- ⑪再度マスト固定ボルトを緩めて、⑦の操作をします。
- ⑫CSアンテナの方向がズレないようにマスト固定ボルトを〈ご注意〉を参考に左右交互に締め付け固定します。

〈ご注意〉

マスト固定ボルトは4本が均等に締まるように、右図の①から④まで順番に2、3回転ずつ締めてください。



- ⑬仰角固定ボルトを緩めて仰角を調整し、指示レベルが最大の仰角で仰角固定ボルト(左右各2か所)を締め付け固定します。
- ⑭最後に偏波角調整ネジを少し緩めて偏波角の微調整を行います。交差偏波のCSコンバータ(垂直偏波のCSコンバータで受信した場合は、水平偏波のCSコンバータ)のレベルが最小となるようフィードホーンをゆっくり左右に回転させて調整します。
- ⑮偏波角調整ネジを左右均等に締め付けてしっかりと固定します。

M8	8～10N・m
M5ネジ	1～1.5N・m

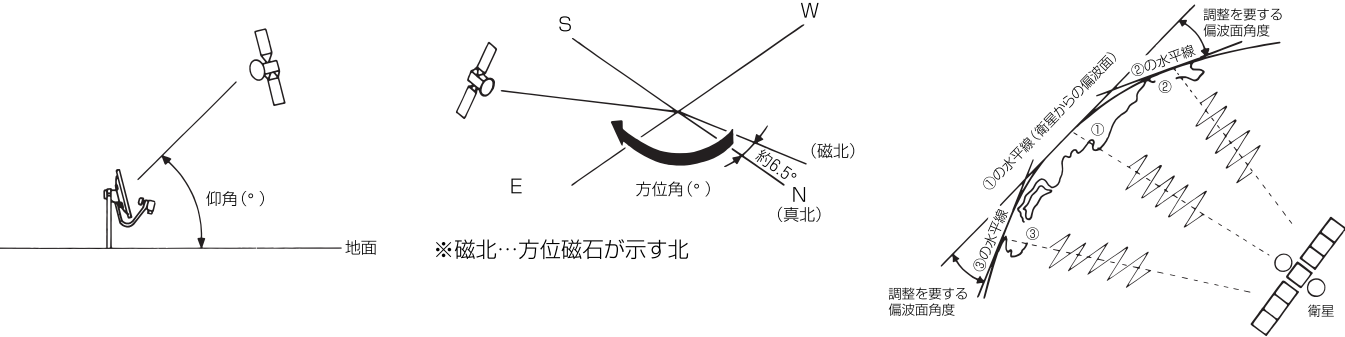
施工説明書

調整方法のつづき

〈主な設置地区の仰角と方位角と偏波角〉

仰角、方位角、偏波角は地域により異なります。同じ場所でも地域により多少異なりますので、この仰角、方位角、偏波角の表は調整の目安としてご参照ください。

●仰角…受信点から衛星を見上げた角度 ●方位角…真北から東回りに測った衛星の角度 ●偏波角…受信点から衛星を見た偏波面の傾き



JCSAT-3号(東経128°) パーフェクTV! サービス

都市名	仰角(°)	方位角(°)	偏波角(°)	都市名	仰角(°)	方位角(°)	偏波角(°)	都市名	仰角(°)	方位角(°)	偏波角(°)	都市名	仰角(°)	方位角(°)	偏波角(°)
稚内	36.0	198.9	13	水戸	45.8	200.5	16	名古屋	48.0	195.3	12	広島	49.8	187.8	6
旭川	37.5	200.3	15	前橋	46.2	198.3	15	豊橋	48.4	196.2	13	徳島	49.8	191.6	10
根室	37.0	204.8	18	土浦	46.2	200.2	16	津	48.7	194.7	12	高松	49.6	190.7	9
釧路	37.7	203.3	17	さいたま	46.6	199.4	16	福井	47.3	193.8	11	松山	50.3	188.5	7
札幌	38.5	199.1	14	千葉	46.7	199.8	16	大津	48.5	193.6	11	高知	50.5	190.0	8
函館	40.0	198.7	14	東京	46.8	199.6	16	京都	48.5	193.3	11	山口	50.1	185.4	4
青森	41.0	199.1	14	甲府	47.1	197.8	14	奈良	48.9	193.3	11	北九州	50.5	185.2	4
盛岡	42.1	200.1	15	厚木	47.1	199.1	15	大阪	49.0	193.1	11	福岡	50.9	184.3	4
秋田	42.4	198.6	14	横浜	47.0	199.6	16	堺	49.0	193.0	11	大分	51.2	186.6	6
仙台	43.7	200.3	16	長野	46.1	196.8	13	神戸	49.0	192.5	10	熊本	51.7	185.0	4
山形	43.8	199.5	15	静岡	47.9	197.8	14	姫路	48.9	191.6	9	佐賀	51.3	184.2	4
福島	44.3	199.9	16	浜松	48.4	196.8	14	和歌山	49.5	192.6	10	長崎	51.9	183.5	3
新潟	44.6	197.6	14	富山	46.3	195.2	12	鳥取	48.2	190.6	9	宮崎	52.7	186.5	5
郡山	44.7	199.9	16	金沢	46.6	194.3	11	松江	48.2	188.6	7	鹿児島	53.1	184.9	4
宇都宮	45.8	199.5	16	岐阜	47.8	194.9	12	岡山	49.2	190.3	8	那覇	59.4	179.3	-1

各都市の方位角は真北からの角度です。方位磁石を用いて方位角を求めるときは、表示の角度に約6.5度加えてください。
このアンテナをマストの中間に取り付ける場合の仰角調整範囲は23°～51°です。
※JCSAT-4号(東経124°)スカイサービスについては次のページをご覧ください。

保証について（裏表紙に記載している保証書に必要事項をご記入ください。）

- この製品の保証期間は、お引き渡しの日から5年間（コンバータ部は2年間）です。保証期間内に取扱説明書記載事項に従った正常な使用状態で故障した場合、ご購入店または裏表紙のDXアンテナ各営業所にお申し付けください。ただし、下記の場合は保証期間内でも有償修理となります。
 - ①日本国以外で使用した場合の不具合。
 - ②住宅用途以外で使用した場合の不具合。
 - ③ユーザーが適切な使用、維持管理を行わなかったことに起因する不具合。
 - ④メーカーが定める施工説明書等に基づかない施工、専門業者以外による移動・分解などに起因する不具合。
 - ⑤建築躯体の変形など住宅部品本体以外の不具合に起因する当該住宅部品の不具合、塗装の色あせ等の経年変化または使用に伴う摩耗などにより生じる外観上の現象。
 - ⑥海岸付近、温泉地などの地域における腐食性の空気環境に起因する不具合。
 - ⑦ねずみ、昆虫などの動物の行為に起因する不具合。
 - ⑧火災・爆発事故、落雷・地震・噴火・洪水・津波等天変地異または戦争・暴動等破壊行為による不具合。
 - ⑨消耗部品の消耗に起因する不具合。
 - ⑩電気の供給トラブル等に起因する不具合。
 - ⑪瑕疵に起因して住宅部品その他の財物の使用ができなくなったことによって生じた不具合。
 - ⑫お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させて頂く場合がございますので、ご了承ください。
 - ⑬この保証書によって保証書を発行しているもの（保障責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

調整方法のつづき

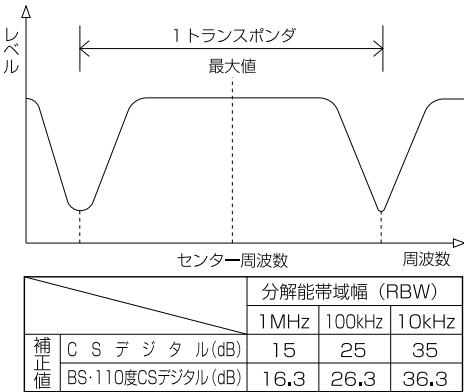
JCSAT-4号(東経124°) スカイサービス

都市名	仰角(°)	方位角(°)	偏波角(°)	都市名	仰角(°)	方位角(°)	偏波角(°)	都市名	仰角(°)	方位角(°)	偏波角(°)	都市名	仰角(°)	方位角(°)	偏波角(°)
稚内	34.8	204.1	17	水戸	43.3	206.5	21	名古屋	46.9	201.8	18	広島	49.0	194.7	12
旭川	36.3	205.6	18	前橋	44.9	204.4	19	豊橋	47.1	202.7	18	徳島	48.8	198.4	15
根室	35.5	210.0	21	土浦	44.8	206.3	21	津	47.5	201.3	17	高松	48.7	197.5	14
釧路	36.3	208.6	21	さいたま	45.2	205.5	20	福井	46.2	200.2	16	松山	49.6	195.5	13
札幌	37.3	204.6	18	千葉	45.3	206.0	21	大津	47.4	200.1	16	高知	49.6	196.9	14
函館	38.8	204.3	18	東京	45.4	205.7	21	京都	47.4	199.9	16	山口	49.6	192.4	10
青森	39.8	204.8	18	甲府	45.8	204.0	19	奈良	47.9	200.0	16	北九州	49.9	192.2	10
盛岡	40.7	205.8	20	厚木	45.7	205.4	20	大阪	47.9	199.7	16	福岡	50.4	191.5	10
秋田	41.1	204.3	18	横浜	45.6	205.8	21	堺	48.0	199.7	16	大分	50.5	193.7	11
仙台	42.3	206.1	20	長野	44.9	203.0	18	神戸	48.0	199.2	16	熊本	51.1	192.3	10
山形	42.5	205.4	20	静岡	46.6	204.1	20	姫路	48.0	198.3	15	佐賀	50.7	191.4	10
福島	43.0	205.8	20	浜松	47.1	203.2	19	和歌山	48.5	199.3	16	長崎	51.4	190.8	9
新潟	43.3	203.6	18	富山	45.2	201.4	17	鳥取	47.4	197.2	14	宮崎	52.0	193.8	12
郡山	43.3	205.8	20	金沢	45.5	200.7	16	松江	47.5	195.2	12	鹿児島	52.6	192.4	11
宇都宮	44.4	205.5	20	岐阜	46.7	201.4	17	岡山	48.3	197.1	14	那覇	59.1	188.3	7

各都市の方位角は真北からの角度です。方位磁石を用いて方位角を求めるときは、表示の角度に約6.5度加えてください。
このアンテナをマストの中間に取り付ける場合の仰角調整範囲は23°～51°です。

デジタル衛星放送出力レベル確認方法（スペクトラムアナライザ使用）

- ①スペクトラムアナライザのセンター周波数を測定する信号（1トランスポンダ）の中央に合わせます。
 - ②スペクトラムアナライザを次のように設定します。
周波数スパン（SPAN） 50MHz
分解能帯域幅（RBW） 1MHz
ビデオ帯域幅（VBW） 300Hz
 - ③信号の最大レベルをスペクトラムアナライザで測定します。
 - ④測定したレベルに補正值（CSデジタル信号 15dB、BS・110度CSデジタル信号 16.3dB）を加えた値が、その信号のレベルとなります。
- また、分解能帯域幅（RBW）を100kHz、10kHzで測定したときの補正值は右表をご参照ください。



RBWを変えたときの値が大きく異なる場合は、誤差が大きいと考えられます。

- 注1）低いレベルのデジタル信号をスペクトラムアナライザで測定する場合には、ノイズの影響などで測定誤差が大きくなります。
- 注2）スペクトラムアナライザの機種によってわずかに補正值が異なる場合があります。

保証書

品番	※お買上年月日	保証期間
CSA-756B	年 月 日	お買上げ日より コンバータ 2年間 アンテナ本体 5年間
※ご販売店	ご住所・ご店名	
	電話 () -	
※お客様	お名前 ふりがな 様	
	ご住所 〒 〇〇〇〇〇〇 電話 () -	

※印欄に記入のない場合は有効とはなりませんので、必ず記入の有無をご確認ください。もし記入が無い場合には、直ちにお買上げの販売店にお申し出ください。

詳しいお問合せは、もよりのDX製品取扱店または下記のDXアンテナ各営業所をご利用ください。

- 札幌支店 TEL.(011) 822-1251(代)
- 旭川出張所 TEL.(0166) 37-5830(代)
- 東北支店 TEL.(022) 243-2141(代)
- 盛岡出張所 TEL.(019) 636-1581(代)
- 郡山出張所 TEL.(024) 921-7131(代)
- 東京支店 TEL.(03) 3341-4569(代)
- 多摩営業所 TEL.(042) 572-4911(代)
- 横浜支店 TEL.(045) 651-2557(代)
- 厚木出張所 TEL.(046) 225-6102(代)
- 埼玉支店 TEL.(048) 652-3311(代)
- 宇都宮営業所 TEL.(028) 659-1100(代)
- 新潟営業所 TEL.(025) 276-2166(代)
- 茨城営業所 TEL.(029) 826-5341(代)
- 千葉支店 TEL.(043) 253-1121(代)
- 木更津出張所 TEL.(043) 823-6281(代)
- 柏出張所 TEL.(04) 7192-1681(代)
- 静岡営業所 TEL.(054) 281-0141(代)
- 浜松営業所 TEL.(053) 461-6885(代)
- 中部支店 TEL.(052) 771-5106(代)
- 松本出張所 TEL.(0263) 27-7801(代)
- 豊橋出張所 TEL.(0532) 69-2370(代)
- 三重出張所 TEL.(059) 226-1643(代)
- 金沢支店 TEL.(076) 261-9988(代)
- 富山営業所 TEL.(076) 422-7878(代)
- 大阪支店 TEL.(06) 6304-5651(代)
- 堺営業所 TEL.(072) 278-5311(代)
- 京都営業所 TEL.(075) 382-6141(代)
- 神戸支店 TEL.(078) 579-8550(代)
- 姫路出張所 TEL.(079) 283-5920(代)
- 広島支店 TEL.(082) 237-5331(代)
- 岡山営業所 TEL.(086) 245-2948(代)
- 高松営業所 TEL.(087) 868-1222(代)
- 松山営業所 TEL.(089) 925-3826(代)
- 山陰出張所 TEL.(0853) 24-2343(代)
- 福岡支店 TEL.(092) 541-0168(代)
- 北九州営業所 TEL.(093) 922-6556(代)
- 長崎出張所 TEL.(095) 842-0780(代)
- 大分営業所 TEL.(097) 504-7799(代)
- 熊本営業所 TEL.(096) 325-0711(代)
- 南九州営業所 TEL.(099) 267-8211(代)
- 沖縄営業所 TEL.(098) 874-6202(代)

DXアンテナ株式会社

本社/〒652-0807 神戸市兵庫区浜崎通2番15号 TEL.(078) 682-0001(代) 東京支社/〒160-0022 東京都新宿区新宿2丁目11番4号 長崎第1ビル3F TEL.(03) 3341-4569(代)
カスタマーセンター TEL.(078) 682-0455 受付時間 9:30～12:00/13:00～17:00 (土曜・日曜・祝日および夏季休暇・年末年始は除く) ホームページアドレス <http://www.dxantenna.co.jp/>